

# 車両用防護柵 ASAキャップ (あと施工キャップ)

## ■ キャップをあと施工にする目的

### ● 品質を継続

キャップを樹脂製（ASA樹脂）とし、あと施工にすることで、土中式支柱施工で稀に生じる『キャップ部のめっき、塗装剥がれ』が解消され、施工当初の品質を長く継続することが可能となります。

### ● 温度感と親和性

街中、S.A. やP.A. 内に設置の車両用防護柵は、歩行者が触れる機会が多くなることが考えられます。これまでの鋼製キャップは、“夏は熱く、冬は冷たい” 温度感が親和性を低下させることが考えられましたが、ASAキャップにすることで、歩行者への温度感や親和性を向上させることが出来ます。

## ■ ASAキャップのサイズと色の展開

### ● サイズ : φ139.8用

高速道路や国道、バイパスの路側部に設置する車両用防護柵に適用可能です。

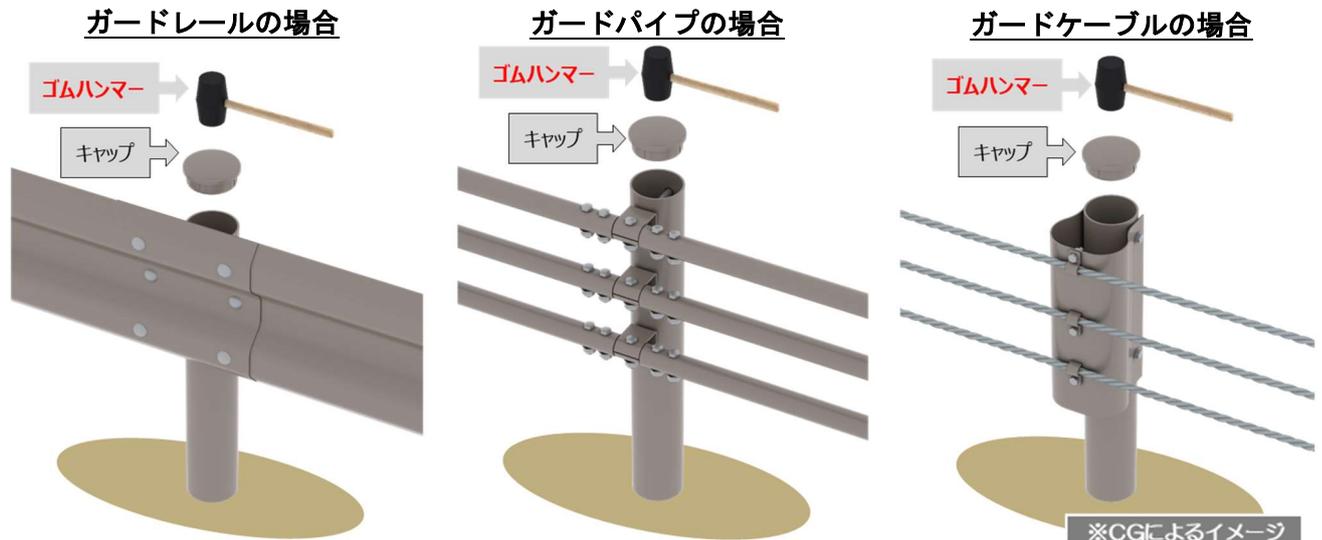
### ● サイズ : φ114.3用

高速道路や国道、バイパスの中央分離帯に設置する車両用防護柵や、都道府県道や市町村道に設置する車両用防護柵に適用可能です。

### ● 色の展開

白色、ダークブラウン、グレーベージュ、ダークグレーの4色を準備しています。  
めっき仕上げの車両用防護柵には、グレーベージュの使用を提案しております。

## ■ ASAキャップの取付け手順



- ▶ 支柱を打設し、ビーム等を取付けた後、最後にASAキャップを取付けてください。
- ▶ ASAキャップの取付けには、**ゴムハンマー**での打設をお願いします。  
※鋼製ハンマーでの打設は、ASAキャップの破損が考えられますので推奨いたしません
- ▶ ASAキャップを支柱に軽く嵌合した後、支柱外径に沿って**ゴムハンマー**で打設すると、よりしっかりと嵌め込むことが出来ます。  
※キャップ上部に布などを敷いて打設していただくと、よりきれいに取付け出来ます